

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第10号 平成21年 4月29日

ゴロが打てず... 外野フライが打てず...

勝敗の境目は初回の攻撃！



4 / 2 6 (日) こども自然公園野球場にて、B・Plesureとのオープン戦を行った。メンバーにかなりの変動が生じ、且つ、投手陣が抜けた現状、誰かが、エース政司のフォローに回らなければならないと感じ、自身3度目のマウンドに上がった。先の2回の登板に比べると、自身も落ち着いて投げる事が出来、ゲームを壊す事無くマウンドを降りた。今後の課題は、自身で感じて欲しいものだが、周囲からのコメントに関しては、素直に耳を傾け、ローテーションの谷間の投手に慣れれば、と思う。さて、今日の攻防は、初回で決定付けられた、といっても過言では無いだろう。初回、2球で、先頭打者を右飛に押さえ、続く打者の遊ゴロをエラー、慣れない牽制をしたら、ファースト右に悪送球、続く3番打者の1ゴロを自身初の内野守備についたファーストがエラー、4番の投ゴロを落ち着いて3本間に挟み、2アウト。5番打者にこの回初のヒットを献上し、2点を与えてしまった。その裏の我がチーム攻撃は、打撃好調な山田が左前にクリーンヒット、そして2盗、そこから、相手投手が崩れ、3連続四死球、しかし、後が悪い。ノーアウト満塁の状態、5番、6番が続いて内野フライを打ち上げ、8番も投手が制球を苦しんでいるにも関わらず、初球を打って、結局押し出しの2点止まりであった。その後は、シーソーゲームで内容のイープンだっただけに、非常に悔やまれる初回となった。草野球は、叩いてゴロを打てば、何かが起きる。その気持ち忘れずに場面・場面でのバッティングを心掛けよう！何故なら、チャンスは早々訪れないし、水物だから・・・次戦は公式戦、今日の失敗を教訓に勝利を目指そう！